

2023年、令和5年が幕をあげました。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今、6年生代表児童から、3学期の3つの目標の発表がありました。最後に、こう言っていましたね。「やりたいこと、挑戦したいことを思いっきりやって、悔いのない学校生活を送りたい。」

みなさんも、3学期の自分なりの目標を掲げて、思いっきり取り組んで悔いのない学校生活をみてください。

さて令和5年は、「卯(う)年」、つまり「うさぎ年」です。「卯」というのは、十二支の中の4番目です。十二支というのは、子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつじ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)の12種からなります。

これに十干(じっかん)と言われる甲(こう)・乙(おつ)・丙(へい)・丁(てい)・戊(ぼ)・己(き)・庚(こう)・辛(しん)・壬(じん)・癸(き)を組み合わせると60種からなる干支(えと)として、暦や時刻、方角を表す際に用いられてきました。聞いたことのある人もいるかもしれませんね。興味のある人は調べてみてください。

令和5年は、60種類からなる干支からいうと、「癸(き)」と「卯(う)」の年となります。

十干の10番目の「癸」は、訓読みで「みずのと」と読み、「物事の終わりと始まり」を意味しています。また、「春が間近で、つぼみが開く直前」という意味もあります。

「卯(う)」という文字には、「冬の門が開き、飛び出る」という意味があります。

この二つの組み合わせである「癸(みずのと)・卯(う)の年」は、「これまでの努力が花開き、実り始める年」ということになると思います。

ここ数年を振り返れば、世界中が新型コロナウイルスに翻弄されてきました。世界中を震撼させてきた新型コロナウイルスに対応するために、失われた日常を取り戻すために、みんなで協力し合い、知恵を出し合い、工夫を重ねながら感染症対策を行ってきました。

これまで当たり前とされてきたことを見直した取組が、「癸(みずのと)・卯(う)の年」である今年、実を結ぶ、そんな期待をしています。

校長先生をはじめ、すべての先生方は、みなさんに幸せになってほしいと願っています。幸せになるには、「4つのことを合わせる」ことが大切だと思っています。

1つは、まずは自分を大切にすることです。目標をもって生き生きと、自分らしく過ごすことが幸せの第一歩です。

2つは、家族を大切にすることです。自分の生活は、家族の支えがあってこそ、もたらされるものです。

3つは、友達を大切にすることです。苦しいときの友達の一言に、どれだけ支えられてきたか、励まされてきたか、思い出してください。

4つは、学校・学年・学級を大切にすることです。学校があるからこそ、学年があるからこそ、学級があるからこそ、友達と一緒に生活することができます。

これらの4つを合わせて、4(し)合わせ、つまり幸せになれると思っています。

3学期に学校に来る日は、今日を入れて1年生から5年生が52日、6年生が50日です。

カウントダウンをしながら、一日一日を大切に過ごしていきましょう。